

ほんごう



学校 HP

札幌市立本郷小学校
学校だより
令和7年10月31日

帰宅時刻(11~3月)→16:30

本とつながるきっかけ

司書教諭 影山 理奈

私は図書館や書店に行くと「～大賞受賞」など、賞をとった本を手にとることが多いです。また、猫とチョコレートが好きなので、表紙に猫が描かれていたり、題名においしそうな言葉が入っていたりするものも手にとってしまう。そんなきっかけで手に取った本が以外にも面白くて、よい本に出会ったなと思うことがあります。本とつながるきっかけは人それぞれで、どんな些細なことからも本とつながることができると思います。子どもたちの中には、読書が好きで自分から本とつながることができる子もありますが、本とつながるきっかけに気付いていない子もいるはず。本郷小学校では、身の回りにあふれている「本とつながるきっかけ」作りとして、たくさんの活動に取り組んでいるので紹介します。

本郷小学校には、開放図書館「いちい文庫」があり、開放司書さんをはじめ、たくさんのボランティアの方々の支援によって、子どもたちは毎日のように図書館で本を読んだり借りたりすることができます。開放司書さんに協力していただき、読書に関わる活動「図書館タイム」も行っています。

また、今年も11月を読書月間として、その前後でいろいろな活動を行います。10月末には先生方で行う「全校一斉読み聞かせ」がありました。児童が行う図書委員会の活動では、休み時間に行っている本の貸し出しの常時活動に加え、「みんなに本を好きになってもらうために、たくさん図書館に来る機会を作ろう」という目的で図書館スタンプラリーを企画しています。

このように様々な活動を経験することで「あの時読み聞かせしてもらった本のシリーズだ。」「この作者の本、他にもあるかな。」と、本とつながるきっかけに気づき、図書館に足を運び、本を手にとる一歩にしていってほしいと思っています。

